

ジオカタログの使用

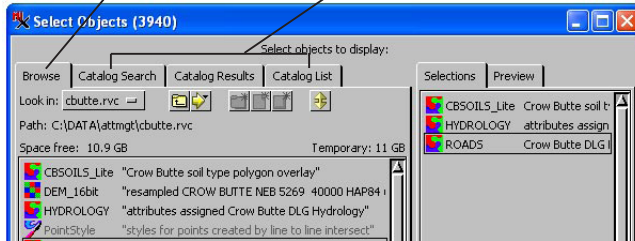
TNT 製品では、表示や解析するオブジェクトの選択を、ドライブやローカルネットワークから選ぶ以外に、オブジェクトの地理的な位置を参照して選択することができます。

ジオカタログ 地理的手法を用いることによって、ユーザ自身の全地理データレイヤから、またはウェブマップサービス (WMS) や ArcIMS で公開しているウェブレイヤから選択することができます。地理的な位置によって手元にある地理データを選択するには、全てのジオリファレンスされたレイヤやオブジェクト、ファイルの範囲、プロパティ、物理的な所在をカタログ化しておく必要があります。地理的に選択したいローカルレイヤのカタログの作成や更新については、テクニカルガイドの「システム：地理空間カタログの作成 (System: Making Geospatial Catalogs)」をご覧ください。WMS や ArcIMS レイヤのカタログはマイクロイメージ社が保守しています。それについてはテクニカルガイドの「システム：TNT 製品の WMS と ArcIMS 能力 (System: TNT Product WMS and ArcIMS Capabilities)」をご覧ください。

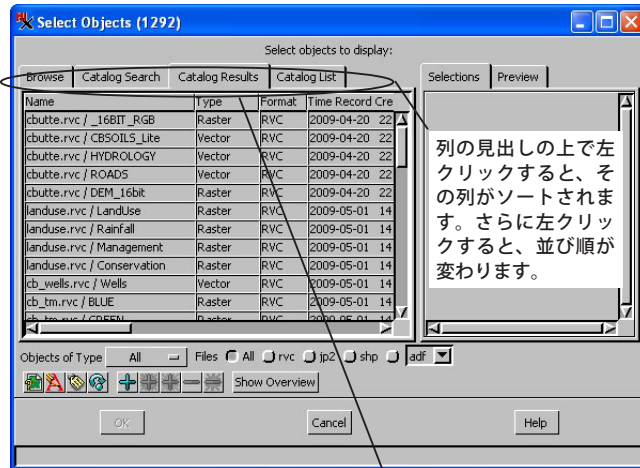
オブジェクト選択ウィンドウ ファイルによる選択および地理的な位置による選択は、オブジェクト選択ウィンドウに統合されています。[閲覧 (Browse)] タブパネルでは、ドライブやネットワーク内のファイルを選びます。<オブジェクトの選択>ウィンドウを開くと、このパネルが最初に表示されます。[カタログ検索 (Catalog Search)], [カタログ結果 (Catalog Results)], [カタログ一覧 (Catalog List)] の3つのタブパネルを使って地理的条件からオブジェクトを求めます。[カタログ検索] パネルでは、[カタログ一覧] パネルで選択したカタログからテキスト入力や地理座標を使って検索を行うことができます。検索条件を満たす全ジオカタログが [カタログ結果] パネルに一覧表示されます。[カタログ検索] パネルで特に条件を設けていない場合は、選択した全カタログの一覧が [カタログ結果] パネルに表示されます。

このタブパネルを使って、ローカルドライブやネットワークを閲覧し、オブジェクトを選択します。

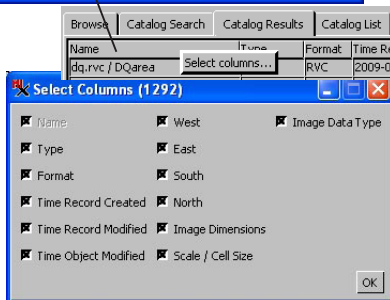
これらのタブパネルを使うと、オブジェクトを地理的条件で検索できます。



TNT 製品の標準的なオブジェクト選択ウィンドウ



列の見出しの上で左クリックすると、その列がソートされます。さらに左クリックすると、並び順が変わります。



列の見出しの上で右クリックして [列の選択 (Select Columns)] を選ぶと、[カタログ結果] パネルに表示された情報を選択できます。テーブル列の操作により、[カタログ結果] パネルのフィールドサイズや順番を変更することができます。

●カタログ検索

[カタログ検索] パネルではパラメータを指定することによって、検索されたカタログからのオブジェクト数を制限することができます。入力テキストに基づいてオブジェクト名や説明、ファイルパスを検索したり、地理的パラメータを使って検索範囲を狭めることができます。既に表示しているグループ内のレイヤと座標をマッチさせたり、他のオブジェクトやファイルからの座標を使うことができます。このタブパネルで使用できるオプションは、テクニカルガイドの「システム：ジオカタログの検索 (System: Searching Geospatial Catalogs)」でさらに説明しています。

[カタログ結果] パネルでは、カタログ検索の条件を満たす全てのオブジェクト、ファイルを一覧表示します。一致は、カタログ全体を含むものから、該当オブジェクトなし、オブジェクト1個、数個のオブジェクトまで、いろいろあります。[カタログ検索] パネルに条件を設けていない場合は、[カタログ一覧] パネルで選択したカタログの全内容が [カタログ結果] パネルに表示されます。検索条件に関するデフォルト設定はありません。[カタログ検索] パネルのオプションについては、前出の「システム：ジオカタログの検索」をご覧ください。

●カタログ結果

[カタログ結果] パネルの左クリック機能または右クリックメニューを使うと、結果の表示画面をカスタマイズできます。リストの項目上でダブルクリックするか、左ボタンのシングルクリック後に [追加 (Add)] アイコンをクリックすると、<オブジェクトの選択>ウィンドウでそのカタログが追加されます。

地理データレイヤの選択

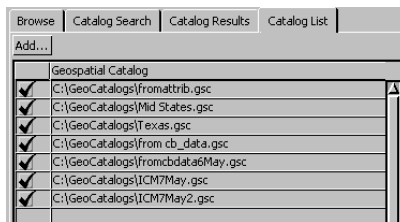
[カタログ結果] パネルの左クリック機能または右クリックメニューを使うと、

結果の表示画面をカスタマイズできます。リストの項目上でダブルクリックするか、左ボタンのシングルクリック後に [追加 (Add)] アイコンをクリックすると、<オブジェクトの選択>ウィンドウでそのカタログが追加されます。

レイヤー一覧の再配置 [カタログ結果] パネルの列の見出しの上で左クリックすると、その列で一覧をソートします。同じ見出しを再クリックすると、列の順番が逆になります。列の見出しの上で右クリックすると、[列の選択] 項目だけのメニューが表示されます。この項目を選ぶと列の選択>ウィンドウ (1 ページ目を参照) が開き、13 個の情報からどれを [カタログ結果] パネルに表示するか選択できます。[名前 (Name)] の列は非表示にできませんが、他の 12 個に関しては自由に選択できます。デフォルトでは全てが表示されています。表形式の表示では、列見出しの上でクリックし、希望する方向にドラッグして列の順番を変えたり、列の間の境目を右にドラッグして列の幅を調整できますが、カタログ結果についても同様に変わることができます。

●カタログ一覧

ユーザもしくはユーザの所属する機関では、[ジオカタログマネージャ (Geospatial Catalog Manager)] を用いて、プロジェクト毎、地理的な領域毎、アクセス権毎に整理したデータ、もしくは単純に全地理データを含む複数のジオカタログを作成することができます。[カタログ一覧] パネルでは、[ジオカタログマネージャ] で生成したジオカタログから、現在の選択操作に含めたいものを選択できます。使用できるジオカタログの名前が全てこのパネルに表示されます。カタログ名の前にはチェックボックスがつき、このチェックボックスにチェックが入っているジオカタログは、[カタログ検索] パネルでの検索に使用されます。



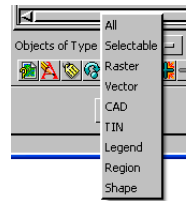
●検索結果の簡略化

[オブジェクトタイプ (Objects of Type)] や [ファイル (Files)] の拡張子オプションを使って閲覧や検索用の地理データファイルの一覧を簡略化できます。選択パネルの下



の行にあるオプションを使って、[閲覧] や [カタログ結果] パネルにあるファイルやオブジェクトをフィルタリングできます。これらのオプションは、表示しているパネルによらず、いつでも設定できます。[閲覧] および [カタログ結果] パネルを表示していれば、オプションの変更はすぐに適用されます。もしくは次にこれらのパネルを表示する際に適用されます。

データタイプによるフィルタ [オブジェクトタイプ] オプションメニューで、全てのオブジェクトタイプを表示するか、個別の地理データタイプ (ラスタ、ベクタ、シェイプ等) のみを表示するか選択できます。この設定は、[ファイル] の設定と連動する点に注意してください。シェイプファイルはシェイプオブジェクトしか含まないため、[オブジェクトタイプ] メニューをシェイプ以外のオブジェクトタイプに設定した場合には、シェイプファイル内にはオブジェクトは表示されません。同様に、ラスタだけが *.jp2 および *.sid ファイルに存在します。



拡張子によるフィルタ [ファイル] のラジオボタンでは、[閲覧] や [カタログ結果] タブパネルにおいて TNT が直接サポートする拡張子の地理データファイルを表示するか、指定した拡張子のファイルのみを表示するか選択できます。RVC ファイルのみを表示するオプションは常に表示されていますが、他の拡張子については、ファイル拡張子メニューから最近何を選択したかによって表示されるものが異なります。

プロセスによるフィルタ [オブジェクトタイプ] メニューは、<オブジェクトの選択>ウィンドウを開いたプロセスで使用可能なオブジェクトタイプを表示します。例えば、全オブジェクトタイプが表示処理のメニューでは表示されません。「ラスタの抜き出し」処理では "全て" と "ラスタ" で、「ベクタにマージ (Merge to Vector)」処理では "ラスタ" 以外の選択肢が表示されます。

[ファイル] の拡張子オプションメニューは、使用しているプロセスで直接使えるファイルタイプを表示します。TNT 製品で直接使用できるファイルタイプ全てが表示処理のメニューに表示され (現在 44 個)、「ベクタにマージ」処理では図形ファイルのみが表示され、「ラスタの抜き出し」にはラスタファイルの拡張子のみが表示されます。検索の後、一覧に表示するオブジェクトやファイルタイプの設定を変更したり、一覧の内容をそれによって減らしたり簡略化することができます。テクニカルガイドの「システム：ファイルタイプの選択オプション (System: File Type Selection Options)」に詳しい説明があります。

